

令和7年度の気象概要、情報提供 (名古屋地方気象台)

令和8年6月19日

土岐川・庄内川の水害から命を守るための会議 協議会

○2025年(令和7年)の愛知県の天候	5-3
○情報提供	5-12

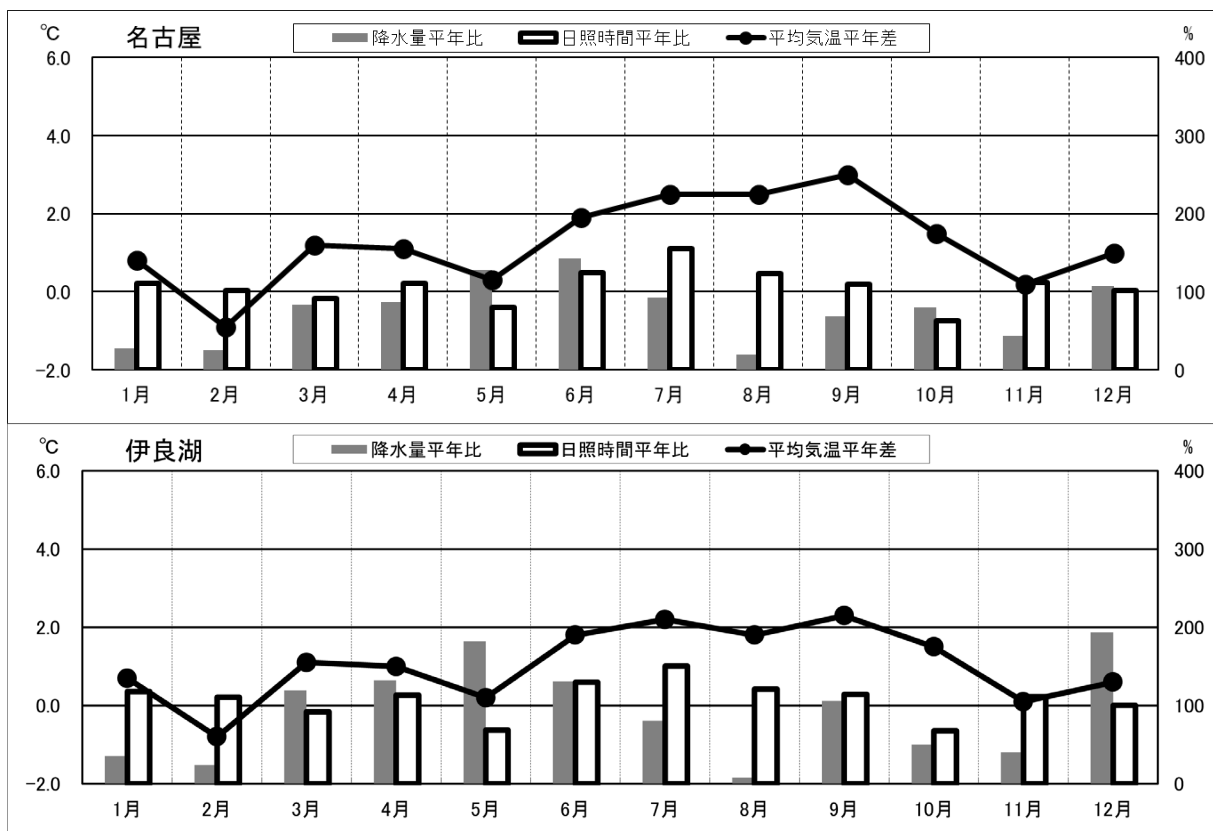
2025年(令和7年)の愛知県の天候

2025年（令和7年）の愛知県の天候

令和8年1月22日
名古屋地方気象台

【天候の特徴】

- 年平均気温**は、名古屋が17.5℃、伊良湖が17.4℃で、ともにかなり高くなりました。月平均気温は、名古屋、伊良湖ともに6～10月に、暖かい空気に覆われやすかったため、かなり高くなりました。
- 年降水量**は、名古屋が1306.0mmで少なく、伊良湖が1570.0mmで平年並となりました。月降水量は、伊良湖は5月、12月に、低気圧や前線の影響で、かなり多くなりました。また、名古屋、伊良湖ともに2月、8月に晴れの日が多かったため月降水量がかなり少なくなりました。
- 年間日照時間**は、名古屋が2275.6h、伊良湖が2403.0hで、ともに多くなりました。月間日照時間は、名古屋は6月、7月、伊良湖は1月、6月及び7月に、高気圧に覆われて晴れの日が多かったため、かなり多くなりました。また、名古屋は10月、伊良湖は5月、10月に曇りや雨の日が多かったため月間日照時間がかなり少なくなりました。



名古屋、伊良湖の月平均気温・月降水量・月間日照時間の平年差・比の推移

○東海地方の**梅雨入り**は5月17日ごろでかなり早く（平年：6月6日ごろ）、**梅雨明け**は6月27日ごろでかなり早い（平年：7月19日ごろ）となりました。

○**台風**の発生数は27個（平年の発生数：25.1個）、上陸した台風は3個（平年の上陸数：3.0個）、東海地方に接近した台風は4個（平年の接近数：3.5個）でした。

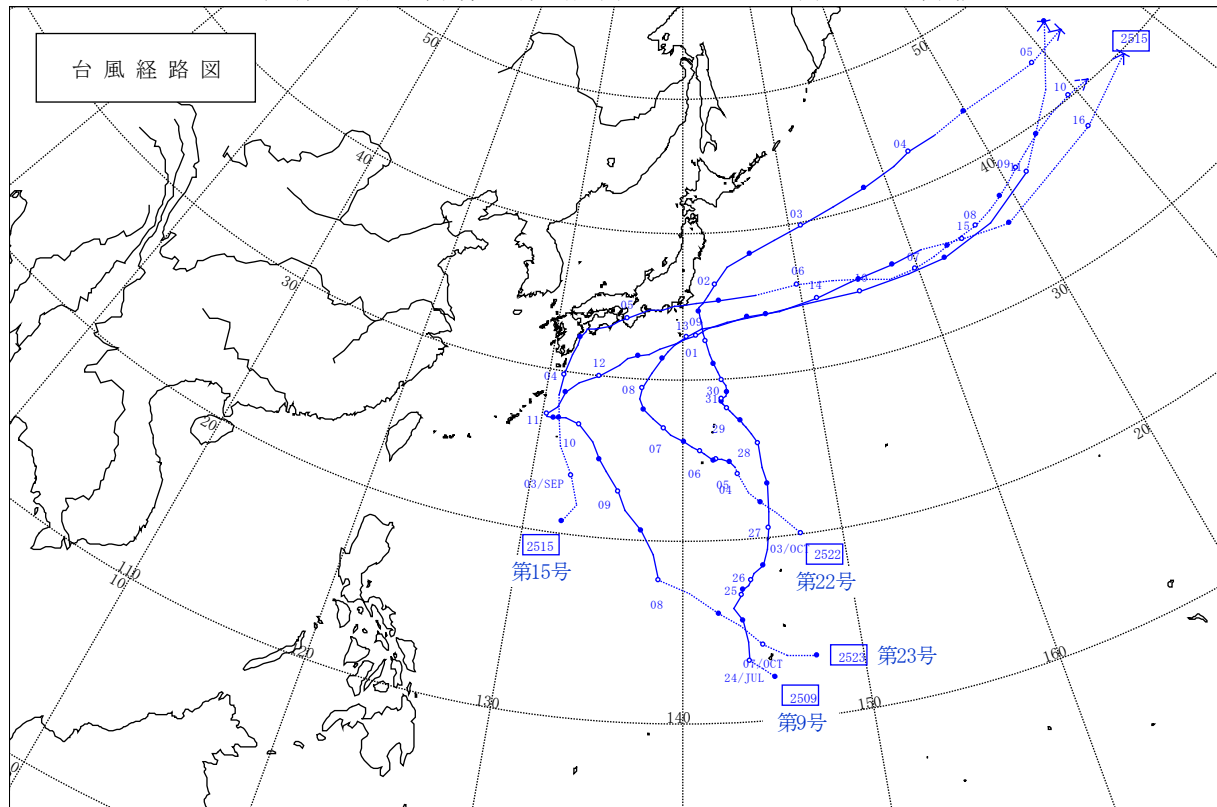
【2025年（令和7年）の台風発生数・上陸数及び東海地方への接近数】

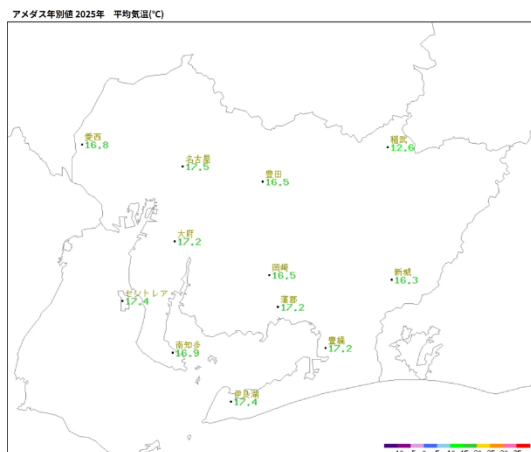
	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
今年	発生数	0	0	0	0	0	2	7	5	6	4	3	0	27
	上陸数	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
	東海接近数	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	4
昨年	発生数	0	0	0	0	2	0	2	6	8	3	4	1	26
	上陸数	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	東海接近数	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
平年値	発生数	0.3	0.3	0.3	0.6	1.0	1.7	3.7	5.7	5.0	3.4	2.2	1.0	25.1
	上陸数	-	-	-	-	0.0	0.2	0.6	0.9	1.0	0.3	-	-	3.0
	東海接近数	-	-	-	-	0.1	0.2	0.6	0.8	1.2	0.7	-	-	3.5

※東海地方に接近した台風：中心が東海地方のいずれかの気象官署及び特別地域気象観測所（富士山を含めた15地点）から300km以内に入った台風

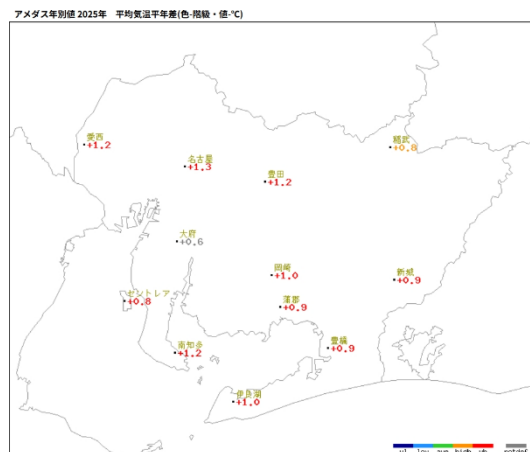
接近は2か月にまたがる場合があります、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しません。
速報値であり、後日値が変わる可能性があります。

東海地方に接近した台風（第9号、第15号、第22号、第23号）の経路図
（実線は台風の期間、点線は熱帯低気圧または温帯低気圧の期間）

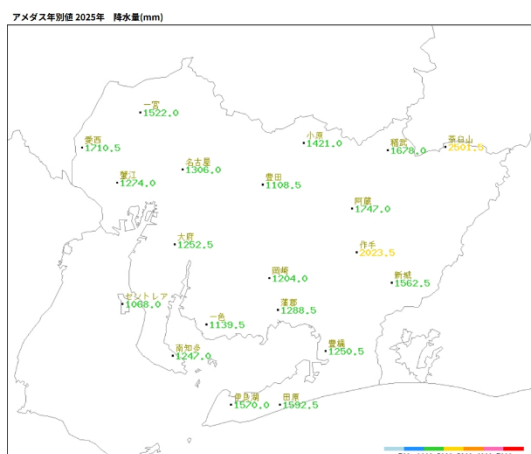




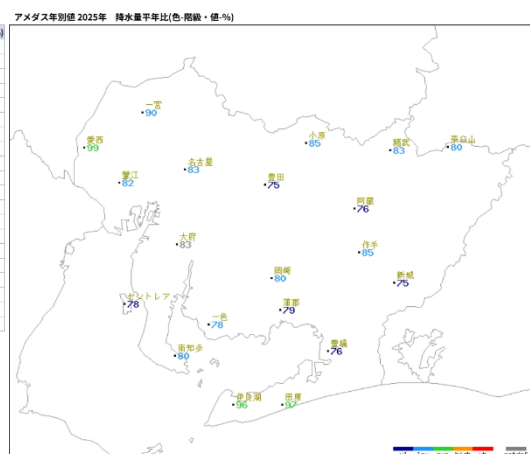
2025年の年平均気温分布図 (°C)



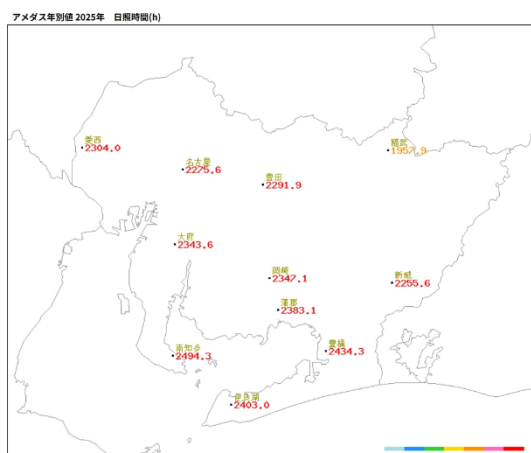
2025年の年平均気温平年差分布図 (°C)



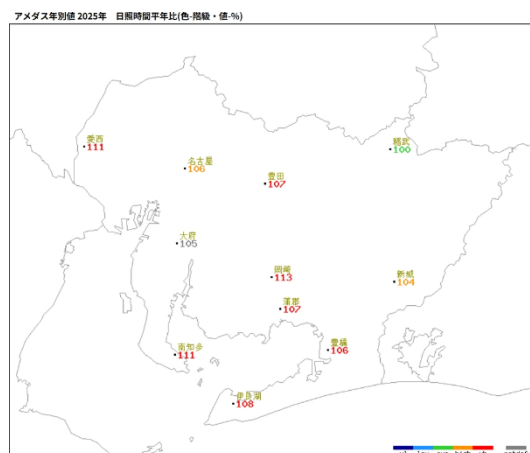
2025年の年降水量分布図 (mm)



2025年の年降水量平年比分布図 (%)



2025年の年間日照時間分布図 (h)



2025年の年間日照時間平年比分布図 (%)

※ 愛西、稲武、豊田、大府、岡崎、新城、蒲郡、南知多及び豊橋において、日照時間の値は推計気象分布(日照時間)の推計値、平年値は推計値の平年値を使用しています。

【季節別の概況】

○冬（前年12月～2月）

冬型の気圧配置や高気圧に覆われて、晴れの日が多くなりました。2月上旬と中旬の終わりから下旬の前半にかけては、気圧の谷や寒気の影響で雪となった日もありました。

名古屋の3か月の平均気温は平年並、降水量はかなり少なく、日照時間は多くなりました。

○春（3月～5月）

天気は数日の周期で変わりました。4月は高気圧に覆われて晴れた日が多くなり、中旬は低気圧の影響で大雨となった日もありました。3月と5月は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。また、3月から4月にかけては暖かい空気に覆われやすかったため、3月と4月の月平均気温は高くなりました。

名古屋の3か月の平均気温は高く、降水量は平年並、日照時間は少なくなりました。

○夏（6月～8月）

期間を通して高気圧に覆われて晴れの日が多くなりましたが、6月前半は梅雨前線の影響で、7月中旬は湿った空気の影響で雨や大雨の日もありました。偏西風が平年より北に偏って流れやすく暖かい空気に覆われやすかったため、夏を通して月平均気温はかなり高くなりました。

名古屋の3か月の平均気温はかなり高く、降水量は少なく、日照時間はかなり多くなりました。

○秋（9月～11月）

9月中旬までと11月は高気圧に覆われて晴れの日が多く、9月下旬から10月は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。9月4日から5日にかけては、台風第15号の影響により、西三河南部を中心に広い範囲で大雨となりました。9月から10月にかけては暖かい空気に覆われやすかったため、9月と10月の月平均気温はかなり高くなりました。

名古屋の3か月の平均気温はかなり高く、降水量は少なく、日照時間は少なくなりました。

○12月

高気圧に覆われて晴れの日が多くなりましたが、前線や寒気の影響で曇りや雨の日もありました。

名古屋の月平均気温は高く、月降水量は平年並、月間日照時間は平年並となりました。

【2025 年（令和 7 年）の冬日・真夏日などの日数】

日最低気温が0℃未満の冬日の日数は、名古屋、伊良湖ともに平年値を下回りましたが、前年（2024年）の値を上回りました。

日最低気温が25℃以上の日数と日最高気温が30℃以上の真夏日の日数は、名古屋、伊良湖ともに平年値及び前年の値を上回りました。日最高気温が35℃以上の猛暑日の日数は、名古屋では平年値及び前年の値を上回り、伊良湖では平年値を上回りました。

なお、名古屋、伊良湖ともに、日最低気温が25℃以上の日数、真夏日の日数は、観測史上1位の値を更新しました。また、名古屋では、猛暑日の日数についても観測史上1位の値を更新しました。

	日最低気温が0℃未満（冬日）の日数			日最低気温が25℃以上の日数			日最高気温が30℃以上（真夏日）の日数			日最高気温が35℃以上（猛暑日）の日数		
	2025年	平年	2024年	2025年	平年	2024年	2025年	平年	2024年	2025年	平年	2024年
名古屋	20	23.8	9	73	25.6	56	101	69.7	97	52	15.0	47
伊良湖	3	5.9	1	60	21.1	55	88	51.0	81	14	4.0	26

【2025年（令和 7 年）の月別平均気温（℃）・降水量(mm)・日照時間（h）】

名古屋		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	本年
平均気温 （℃）	本年	5.6	4.6	10.4	15.7	19.7	24.9	29.4	30.7	27.5	20.1	12.8	8.2	17.5
	平年値	4.8	5.5	9.2	14.6	19.4	23.0	26.9	28.2	24.5	18.6	12.6	7.2	16.2
	平年差	+0.8	-0.9	+1.2	+1.1	+0.3	+1.9	+2.5	+2.5	+3.0	+1.5	+0.2	+1.0	+1.3
	階級	高い	低い	高い	高い	平年並	かなり高い	かなり高い	かなり高い	かなり高い	かなり高い	平年並	高い	かなり高い
降水量 (mm)	本年	14.0	16.5	96.5	110.5	192.0	266.5	195.5	28.0	159.0	132.5	34.0	61.0	1306.0
	平年値	50.8	64.7	116.2	127.5	150.3	186.5	211.4	139.5	231.6	164.7	79.1	56.6	1578.9
	平年比	28%	26%	83%	87%	128%	143%	92%	20%	69%	80%	43%	108%	83%
	階級	少ない	かなり少ない	平年並	平年並	多い	多い	平年並	かなり少ない	平年並	平年並	少ない	平年並	少ない
日照時間 (h)	本年	194.0	177.6	181.8	222.1	164.9	188.5	257.7	247.9	174.8	105.7	187.0	173.6	2275.6
	平年値	174.5	175.5	199.7	200.2	205.5	151.8	166.0	201.3	159.6	168.9	167.1	170.3	2141.0
	平年比	111%	101%	91%	111%	80%	124%	155%	123%	110%	63%	112%	102%	106%
	階級	多い	平年並	少ない	多い	少ない	かなり多い	かなり多い	多い	平年並	かなり少ない	多い	平年並	多い
伊良湖		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	本年
平均気温 （℃）	本年	6.7	5.5	10.5	15.3	19.0	24.0	28.3	29.2	26.7	20.6	13.7	9.2	17.4
	平年値	6.0	6.3	9.4	14.3	18.8	22.2	26.1	27.4	24.4	19.1	13.6	8.6	16.4
	平年差	+0.7	-0.8	+1.1	+1.0	+0.2	+1.8	+2.2	+1.8	+2.3	+1.5	+0.1	+0.6	+1.0
	階級	高い	低い	高い	高い	平年並	かなり高い	かなり高い	かなり高い	かなり高い	かなり高い	平年並	高い	かなり高い
降水量 (mm)	本年	22.0	16.5	145.0	184.0	297.5	235.0	129.0	9.5	254.5	112.5	42.5	122.0	1570.0
	平年値	61.9	68.3	121.5	138.8	163.5	179.6	159.6	115.5	240.6	223.9	106.0	63.1	1642.1
	平年比	36%	24%	119%	133%	182%	131%	81%	8%	106%	50%	40%	193%	96%
	階級	少ない	かなり少ない	多い	多い	かなり多い	多い	平年並	かなり少ない	平年並	少ない	少ない	かなり多い	平年並
日照時間 (h)	本年	212.3	194.8	185.1	227.8	140.5	202.1	292.6	283.0	193.4	111.4	184.7	175.3	2403.0
	平年値	180.1	176.1	201.3	201.3	205.1	155.5	194.4	234.2	169.0	164.1	166.0	174.9	2222.0
	平年比	118%	111%	92%	113%	69%	130%	151%	121%	114%	68%	111%	100%	108%
	階級	かなり多い	多い	少ない	多い	かなり少ない	かなり多い	かなり多い	多い	多い	かなり少ない	多い	平年並	かなり多い

(注)

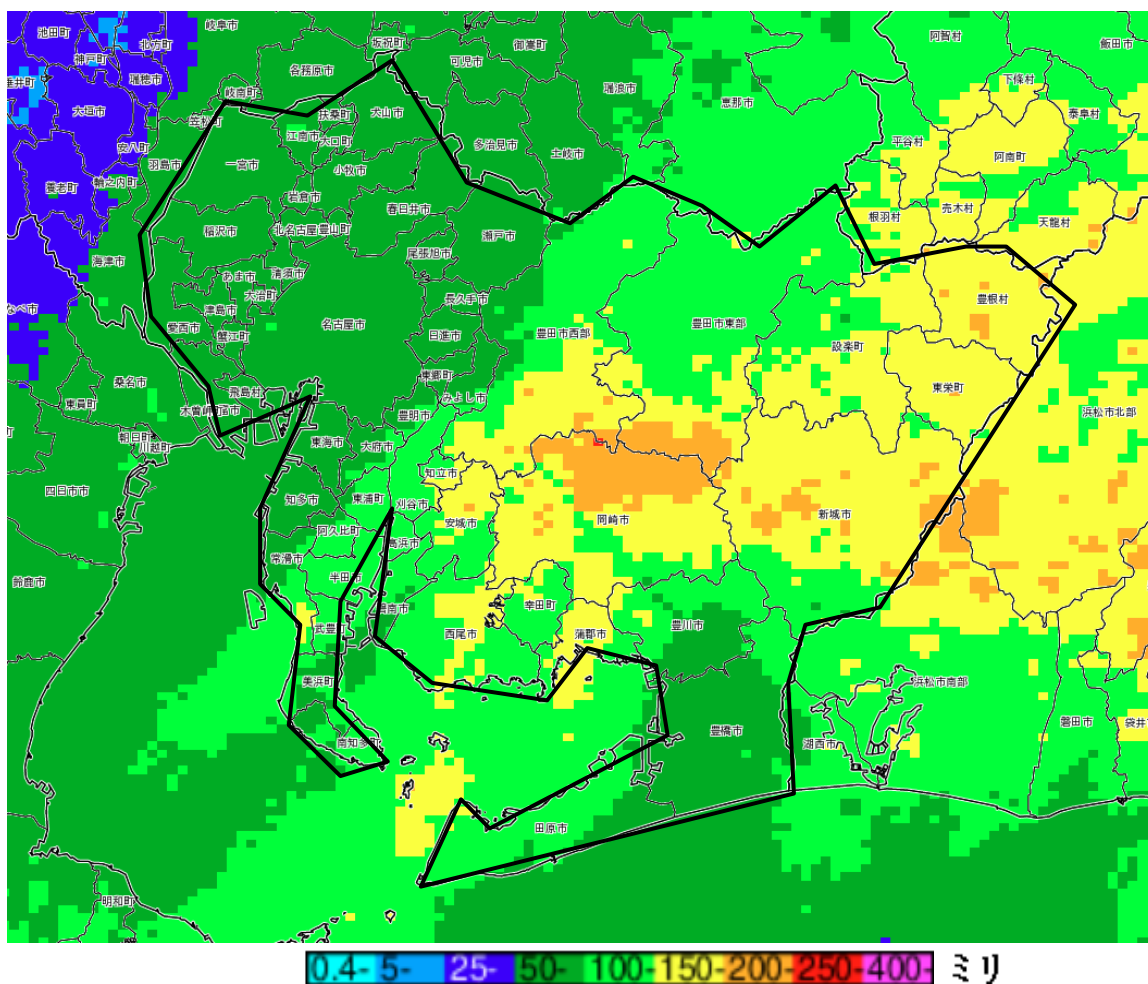
1. 平年値は1991～2020年の資料から求めました。
2. 「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の階級は、1991～2020 年における30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられるように決めています。また、値が1991～2020 年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い（少ない）」「かなり高い（多い）」と表現します。
3. 値の横に ） や] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ（日別値）に欠測等が含まれていることを示します。 ） 付きの値（準正常値）は通常のもと同様に扱うことができますが、] 付きの値（資料不足値）については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計日数（統計に用いた、品質が十分な日別値の数）を参考にして使用してください。なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」としました。
4. この資料は速報なので、後日値が変わる可能性があります。

【トピックス】

台風第15号による大雨

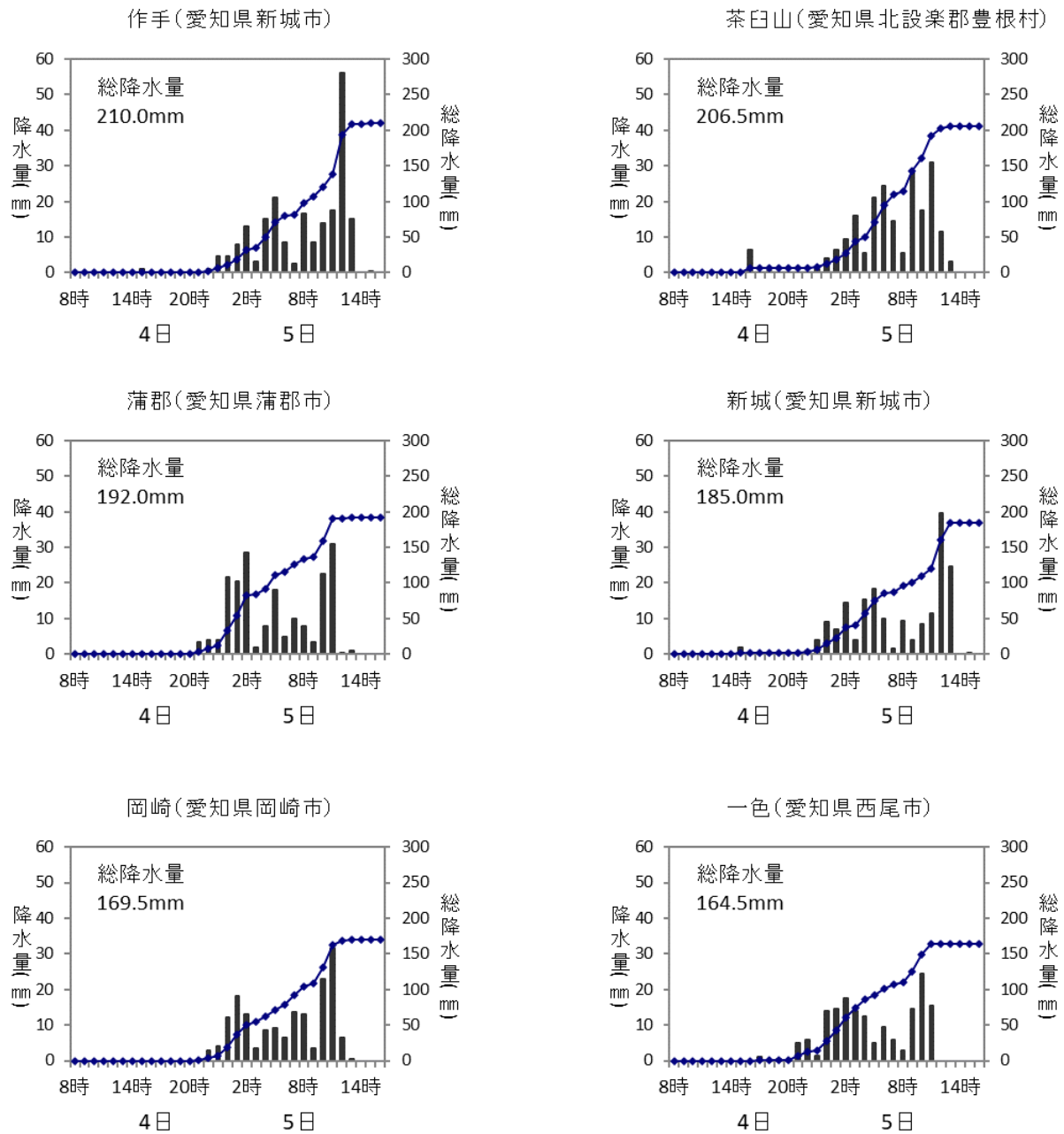
台風第15号は、9月5日1時半頃に愛媛県愛南町付近に上陸した後、和歌山県北部、愛知県豊橋市付近に再上陸し、静岡県伊豆半島を通過して千葉県館山市付近に再上陸し、6日3時に温帯低気圧に変わりました。県内では台風の東側の暖かく湿った空気の影響により4日から雨が降り始め、台風が最接近した5日は雷を伴った非常に激しい雨が降りました。局地的に猛烈な雨が降った岡崎市には、土砂災害警戒情報を発表しました。5日24時までの24時間降水量は、多い所で約250ミリ（解析雨量）を超えた所もあり、アメダスにおける24時間降水量は、作手で199.0ミリ、茶臼山で194.5ミリ、新城で169.0ミリを観測しました。また、大府では日降水量（112.0ミリ）が9月として観測史上1位の値を更新するなど、記録的な大雨となりました。

○解析雨量（9月5日00時から9月5日24時までの24時間積算）



- ・ 解析雨量とは、気象レーダーとアメダス等の地上の雨量計により観測されたデータを組み合わせ、1km四方ごとに過去1時間の雨量分布を解析したものです。
- ・ この分布の値は雨量計で観測された値ではなく、レーダーなどの資料も含めて解析した値のため、実際の雨量と異なる場合があります。

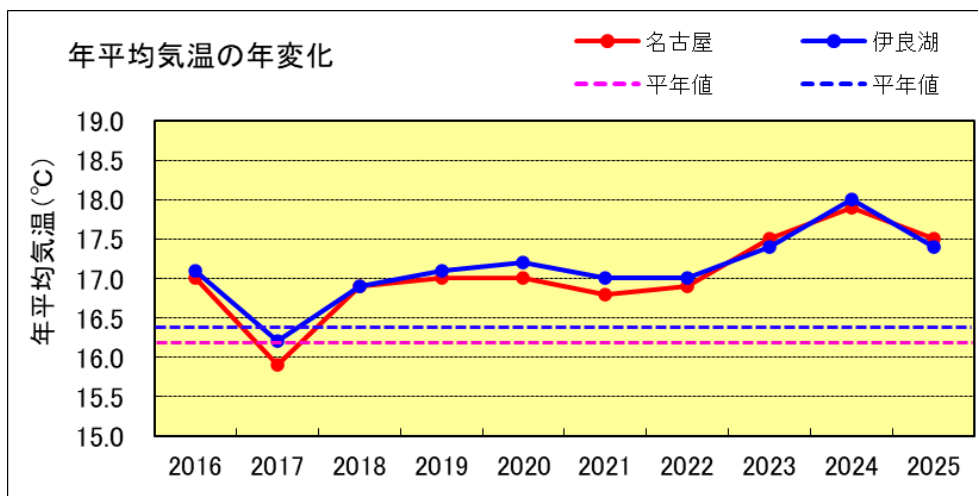
○主な観測所の降水量の推移（9月4日07時～9月5日16時）



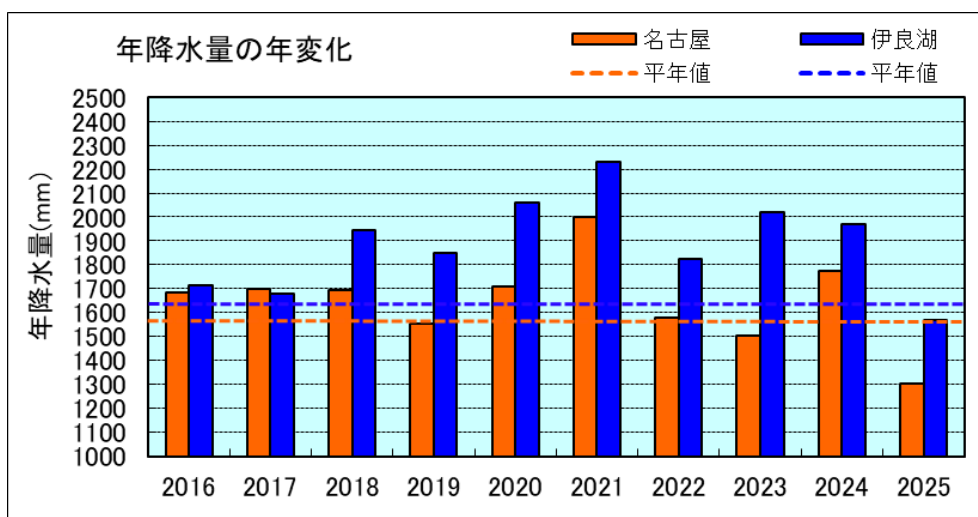
- ・愛知県内のアメダスのうち、総降水量の多かった上位6地点を示しています。
- ・グラフの横軸の1時での降水量は、1時時点での前1時間降水量を表しています。

[参考]

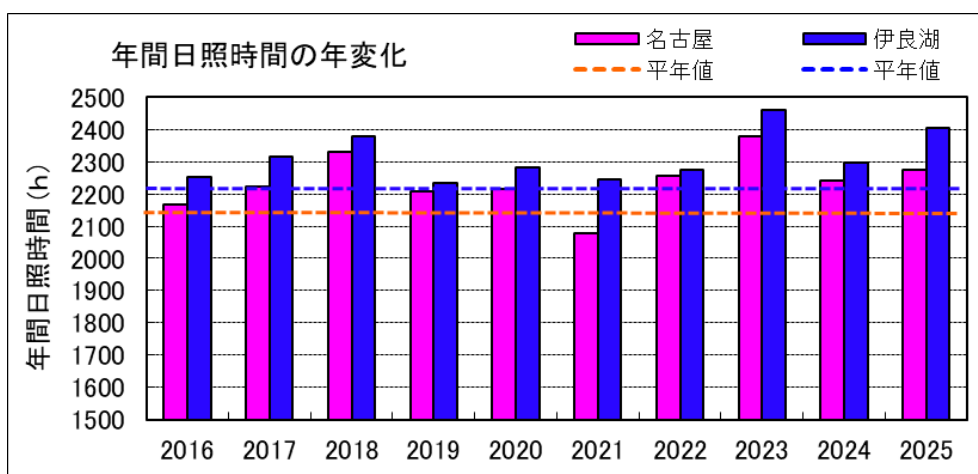
【年平均気温・年降水量・年間日照時間の年変化図（2016～2025年）】



過去10年間の名古屋、伊良湖の年平均気温



過去10年間の名古屋、伊良湖の年降水量



過去10年間の名古屋、伊良湖の年間日照時間

情報提供

氾濫通報等と新しい防災気象情報について

- 防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表。**（例：レベル4大雨危険警報 等）
- レベル5相当情報については、**氾濫特別警報を新たに運用するとともに、氾濫通報も活用して運用。**

水防法に基づく水位周知や氾濫通報を含めた新しい防災気象情報

	河川氾濫			大雨※4 低地の浸水や 洪水予報河川以外 の外水氾濫	土砂災害 急傾斜地の がけ崩れや土石流	高潮 海水面上昇や 波の打上げによる 浸水	(警戒レベルごとに) 住民がとるべき行動
	洪水予報河川	水位周知河川	その他 河川・下水道				
	河川ごと			市町村ごと			
警戒レベル 5相当	※1、2 レベル5 氾濫特別警報	※2 レベル5 氾濫発生情報	※2 レベル5 氾濫発生情報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	※1、2、5 レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに 安全確保！
＜警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！＞							
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	※3 レベル4 氾濫危険情報	—	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から 全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 氾濫警戒情報	—	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は 早めに避難、避難の 準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 氾濫注意情報	—	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認 (避難場所や避難ルート、 避難のタイミングなど)
警戒レベル 1	早期注意情報						災害への心構えを高める

※1 レベル5 氾濫特別警報とレベル5 氾濫発生情報（高潮の場合はレベル5 高潮特別警報とレベル5 高潮氾濫発生情報）は一体的に発表される。

※2 レベル5 氾濫発生情報（高潮の場合はレベル5 高潮氾濫発生情報）については、河川管理者等による氾濫通報を用いて運用されるほか、特別警報の発表判断にも活用。氾濫通報を運用する対象については、緊急安全確保に特に留意が必要となる氾濫をもたらす河川・海岸・下水道を選定し、氾濫状況（家屋倒壊、深い浸水、地下街浸水）が想定される河川区間等とともに、事前に水防計画で定めておく。

※3 水位周知河川において河川管理者から発表されている5段階の水位到達情報については今後も継続して運用される（レベル4 氾濫危険情報以外の運用は任意）。

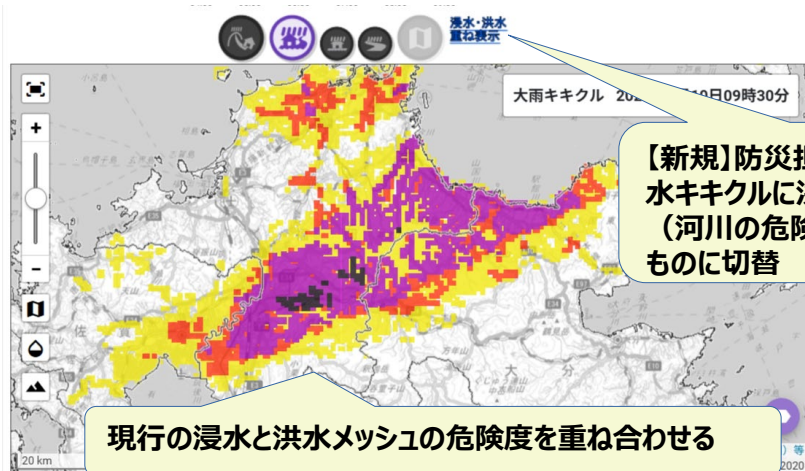
※4 大雨に関する情報（市町村ごとに発表）では、大雨による低地の浸水に加えて洪水予報河川以外の外水氾濫についても扱う。

※5 高潮では、より精度の高い予測情報を国土交通省・気象庁・都道府県で共同で予報する制度を一部海岸で新たに運用。

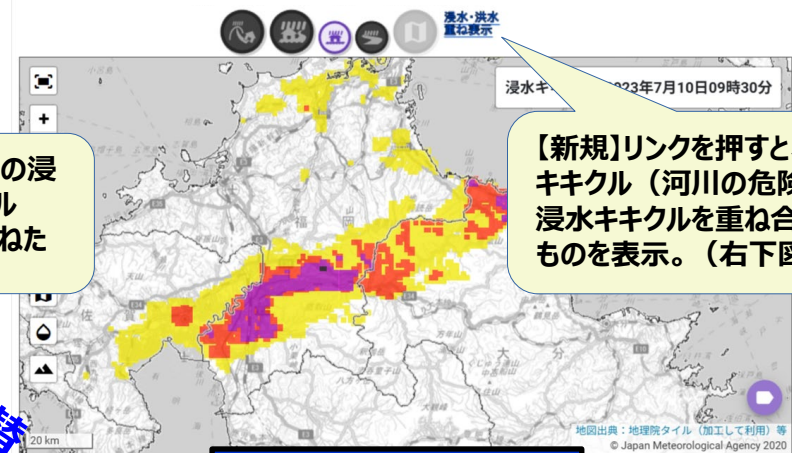
大雨に関する情報とキキクルの対応

- 【新規】大雨に関する情報に対応する危険度がわかるように、新たに「**大雨キキクル**」を提供
- 洪水キキクルと浸水キキクルについても、洪水災害・浸水害それぞれの危険度の確認に必要なため提供を継続
- 【新規】防災担当者向けに河川の外水氾濫と内水氾濫のどちらの危険度が高まっているのかが一目で分かるように、**浸水キキクルと洪水キキクル（河川の危険度）を重ねあわせた表示**も提供。
- 土砂キキクルについては、表示仕様から変更はしない。（キキクルの判定基準は変更あり）

【新規】大雨キキクル



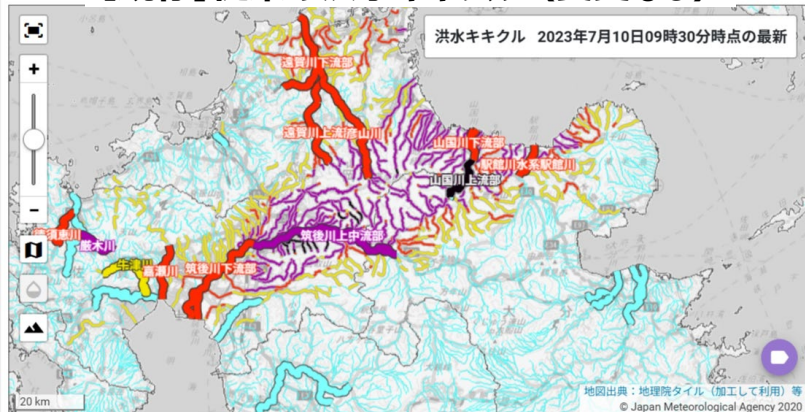
【既存】従来の浸水キキクル（変更なし）



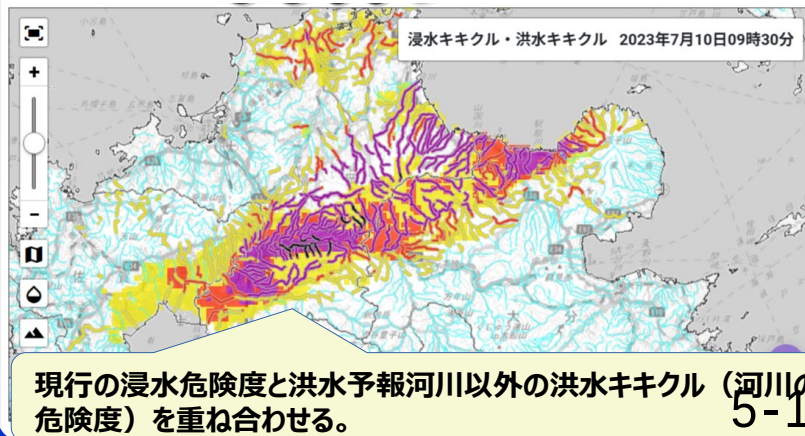
切替

防災担当者向け

【既存】従来の洪水キキクル（変更なし）

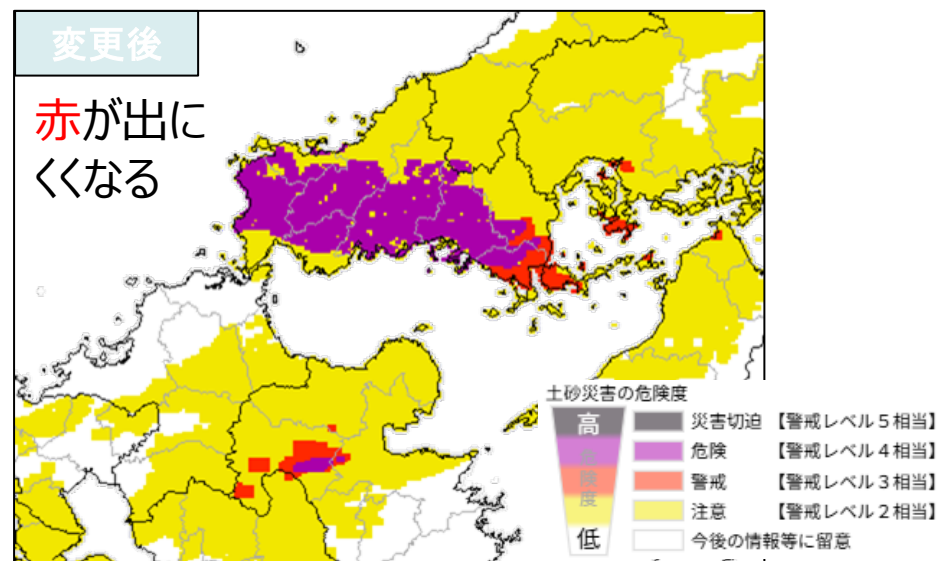
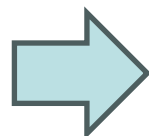
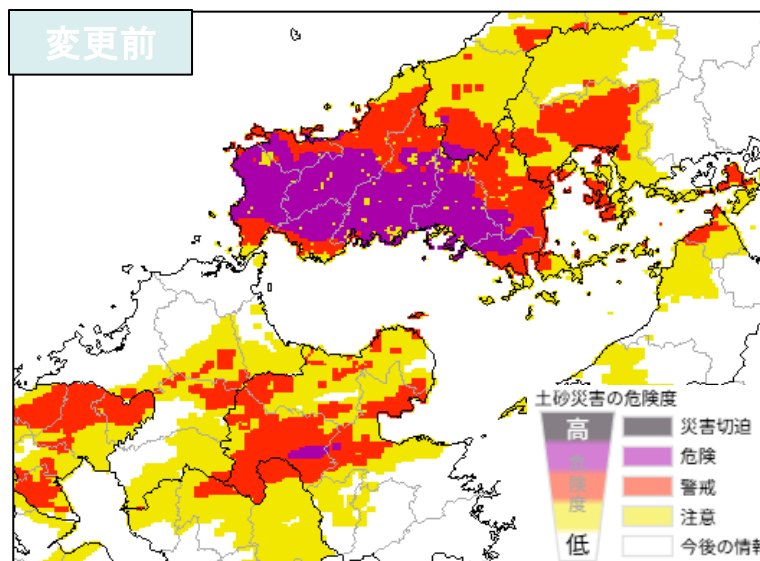


【新規】浸水キキクルに洪水キキクルを重ねたもの



変更前後のイメージ

※レベル2とレベル5の基準値はダミーとして現行のものを利用



- 土砂キキクルでは、表示形式の変更はない。
- 土砂に関する情報のレベル2～5の運用に対応し、判定基準は以下のとおり変更。

	変更前	変更後
災害切迫	実況で大雨特別警報（土砂災害）基準値到達	実況でレベル5土砂災害特別警報基準値到達
危険	2時間先までに土砂災害警戒情報基準到達	2時間先までにレベル4土砂災害危険警報基準到達
警戒	2時間先までに大雨警報（土砂災害）基準到達	3時間先※にレベル4土砂災害危険警報基準到達
注意	2時間先までに大雨注意報基準到達	6時間先までにレベル2土砂災害注意報基準到達
今後の情報等に留意	2時間先まで大雨注意報基準未満	6時間先までレベル2土砂災害注意報基準未満

※土砂キキクルは3時間先にレベル4土砂災害危険警報基準に到達する予想の場合に「赤」を表示させる

※レベル3土砂災害警戒は、3～6時間先にCL到達を予想する時に発表するため、4～6時間先は予報担当者の判断を加味して発表する。（その場合、土砂キキクルは当該二次細分区域では赤は出現していない）